稔りの秋！安全で安心な今金米の収穫がはじまりました！



町内のトップを切って、鈴岡の吉本富夫さんの水田で９月14日、稲刈りが行われました。(写真右)この日刈り取られたのは、種もみの段階から薬を使わない温湯で消毒された「ほしのゆめ」です。

また、９月22日、檜山北部のトップを切って、村上忠弘さん(神丘)と吉本辰也さん(鈴岡)が玄米バラ集出荷施設に米を初出荷しました。(写真下)

昨年より３日遅い初出荷となった今回は「ほしのゆめ」あわせて約８トンで、施設職員の検査の結果、全量一等米であり、タンパク質も6.3%～6.6%と上々の品質でした。出荷された米は、Ａコープ今金店で販売される他、主に東京、大阪、札幌、函館を中心に販売されることになります。



ＪＡ今金では、食に安全と安心を求める消費者のニーズに応えるため、農薬の使用回数をおさえ、さらに農薬に使われる薬剤の種類を通常栽培の半分以下で栽培する「農薬節減米」の生産にも力を入れて取り組んでおり、平成20年産米では「ほしのゆめ」や「ななつぼし」など、あわせて60haを超える作付けを行っております。

今金男爵を手渡し、安全運転を呼びかける　神丘子供会



神丘の子ども達10名が、９月７日、神丘構造改善センター前の国道で男爵いもの入った袋を配り、道行くドライバーに安全運転を呼びかけました。

この取り組みは、昨年閉校となった神丘小学校が行っていたものを神丘子供会が引き継いで行われたもので、子ども達は元気よく「安全運転をお願いします。」と呼びかけていました。

また、神丘子供会では、安全運転を訴える標語を書いた看板を作成して、国道沿いに設置し安全運転を呼びかけております。

運転中のひやり！はっと！を疑似体験



今金第三老人クラブ（会長:岸本義仁）の会員の方々が、９月10日、老人福祉センター前駐車場において、車の運転を疑似体験することができる北海道警察本部の交通安全教育車北斗号のドライビング・シミュレーターを体験しました。

これは、リアルにつくられた街並みを運転して実際に起きた事故を疑似体験ができるもので、参加者は、思いもよらない行動をとる歩行者や自転車に緊張しながら運転していました。また、体験終了後には、個別に運転の診断を受けておりました。

悲惨な交通事故から地域を守ろう！　豊田老人クラブ



道道今金北檜山線と町道豊田線が交わる交差点付近に、豊田老人クラブ（会長:川上敏夫）の会員らが、白バイにまたがったクマのぬいぐるみと交通安全を訴える看板を設置しました。

この通りは、見通しの良い直線が続く道路でスピードを上げて車が行き交い、この交差点付近には橋などがあり、交通事故が後を絶ちません。数年前には、老人クラブの仲間が命を落とすという悲しい事故がありました。今回の看板設置は、このような悲惨な事故が二度と起こらないことを祈って設置したものです。

する源です。地産地消にご協力を！！お買い物は町内で！